

第2回 大洲市総合計画審議会の意見

No.	ページ	意見	対応
①	P1-6	<p>■ “6 安心・安全への意識の高まり” で、「また、近年、頻発・激甚化するゲリラ豪雨の被害…」とあり「ゲリラ豪雨」と表現されています。最近のニュースなどでは、「線状降水帯」という言葉が用いられ、ゲリラ豪雨という言葉が聞かなくなっています。</p>	<p>【最終案】</p> <p>6 安全・安心への意識の高まり</p> <p>また、近年、頻発・激甚化する線状降水帯による大雨の被害など、自然災害の危険性が高まっています。</p>
②	P2-13	<p>■ 第1回目の審議会では、「大洲らしさ」を強調していこうという方針になったと思います。P2-13の“施策の大綱 1-2 商工業の振興”の中で、「肱川」という文言がありません。考え方のベースとして、「肱川流域」を意識した文面にしてほしいです。</p>	<p>・ 第2回審議会に提示した案では、具体的な名称や資源の記載を削除した案を提示していた。</p> <p>【最終案】</p> <p>施策の大綱 1-3 観光業の振興</p> <p>「うかい」や「いもたき」などの観光行事、「臥龍山荘」や「大洲城」、「明治の家並み」、「長浜大橋」、「鹿野川湖」、「屋根付き橋」などに代表される地域の歴史、文化、自然、風土など、本市の地域固有の資源が持つ魅力を磨き上げ、</p>
③	P3-2 (P3-1)	<p>■ 農業に関する労働力をどうするかです。高齢化が進む中で、近隣の市町では、先進的な取組を行っています。我々も新たな取組を実施してほしいです。担い手として専業農家だけでは、難しいと思います。我々は、農業の担い手を「多様な担い手」と表現しています。</p>	<p>【最終案】</p> <p>主要施策 1 農畜産物の生産振興と多様な担い手の育成</p>
④	P3-2	<p>■ 農業に関して、近年、問題になっている気候変動についてなのですが、思いがけない気候変動に左右されています。国も「みどりの食料システム戦略」を出しています。それについては、どのように対応するのでしょうか。</p>	<p>【最終案】</p> <p>主要施策 1 農畜産物の生産振興と担い手の育成</p> <p>①生産体制の強化</p> <p>・ 温暖化による気候変動や大規模自然災害への対応をはじめ、持続可能な生産体制の構築に関する支援を行います。</p>

No.	ページ	意見	対応
⑤	P3-2	<p>■“主要施策1の②意欲ある担い手の育成と 営農環境の向上”とあるのですが、下の文 言を見ると「整備」という言葉の方が適し ているのでは。</p>	<p>・「営農環境」は、ハード的な整備だけでな く、ソフト的な対策も含まれていることか ら変更なし。</p>
⑥	P3-6	<p>■林業について、山に囲まれた大洲市では重 要な産業であるが、新規就業者が少ない。 山に少し活気が戻ってきているが、就業す るには高額な機械等を購入する必要もあ る。その当たりの支援が必要では。</p>	<p>・第2回審議会に提示した案で、「認定林業 事業体への就業を促し、」また、「自伐型林 業の推進を図ります。」と記載しているこ とから変更なし。</p> <p>※下位の関連計画において掲載を検討 するもの</p> <p>【最終案】 主要施策2 木材などの生産の振興と担い 手の確保・育成 ②意欲のある担い手の確保・育成 ・認定林業事業体への就業を促し、新規就 業者の確保に向けた取組を行います。</p> <p>・林業施業プランナーの育成や自伐型林 業の推進を図ります。</p>
⑦	P3-15	<p>■うかいの船頭を増やしていくことは、行政 が主導する形で引っ張っていかなくては ならない。年間を通して船を出せるような 取組もしている。</p>	<p>・第2回審議会に提示した案で、「うかい観 光の振興を図るため、鵜匠や船頭の確保と 育成を推進します。」と記載していること から変更なし。</p> <p>【最終案】 主要施策1 観光客のおもてなしとインバ ウンド対策の充実 ①おもてなしの強化 ・うかい観光の振興を図るため、鵜匠や船 頭の確保と育成を推進します。</p>

No.	ページ	意見	対応
⑧	P3-15	<p>■P1-26 の今後のまちづくりの課題の 5 番（自然の保全・活用、地球環境の保全）で観光について触れられています。基本計画の P3-15 では、左には「本市の豊かな自然などの資源を活かした…」などがなくなっています。もう少し全体を俯瞰した表現を記載してほしいです。</p>	<p>・第 2 回審議会に提示した案では、「本市の豊かな自然などの資源を活かした…」の記載を削除した案を提示していた。</p> <p>【最終案】</p> <p>主要施策 2 観光資源の充実と多様な観光メニューの提供</p> <p>①観光資源の充実</p> <p>・本市の豊かな自然などの資源や文化財観光施設を活かした付加価値の高い観光コンテンツを創出し、本市観光の魅力を発信します。</p>
⑨	P3-15	<p>■“主要施策 2 の②観光施設の連携と観光マネジメントの充実”で、まちの駅・道の駅があります。まちの駅・道の駅のように、地産地消として産直市（愛たい菜）とも連携してほしいです。連携とは、市内を周遊する仕組みづくりに、愛たい菜にバスが停まるなどを考えています。</p>	<p>【最終案】</p> <p>主要施策 2 観光資源の充実と多様な観光メニューの提供</p> <p>・観光施設の効率的な維持管理と運営、まちの駅・道の駅などの機能強化と官民連携による強化を図るとともに、まちの駅「あさもや」を核とした着地型観光を推進します。</p>
⑩	P3-15	<p>■“主要施策 2 の②観光施設の連携と観光マネジメントの充実”の左ページには、「JR伊予大洲駅から…」の文言がありますが、右ではなくなっています。「JR伊予大洲駅から…」について加筆してほしいです。</p>	<p>・第 2 回審議会に提示した案では、「JR伊予大洲駅」の記載を削除した案を提示していた。</p> <p>【最終案】</p> <p>主要施策 2 観光資源の充実と多様な観光メニューの提供</p> <p>②観光施設の連携と観光マネジメントの充実</p> <p>・市の玄関口となる JR伊予大洲駅から肱南地区までの動線は、観光客の市内周遊の主要な動線として、魅力の向上を図ります。</p>

No.	ページ	意見	対応
⑪	P3-16	■「松山市や八幡浜市と連携しながら…」とあるのですが、なぜ、八幡浜市なのでしょう。内子町とかは、記載しないのでしょうか。	・八幡浜市は、八幡浜市ふるさと観光公社が設立され、観光庁より、地域DMOの認定を受けており、その連携を図るため今回八幡浜市を追加した
⑫	P3-39	■“文化・芸術”に関してですが、市民が今一番注目しているのは、大洲市の市民会館の移転についてです。左側と比較して、文言に変更がありません。もう少し加筆してほしいです。大洲市においては、観光資源、インフラの主要施設となっています。	【最終案】 主要施策1 文化・芸術の振興 ・市民会館の移転・改築については、市民などの意見を踏まえながら、整備を進めます。
⑬	P3-42	■以前は「長浜の水族館構想」の記載があるのですが、今回は触れられていません。今までの第三次開発事業基本計画があるはずですが。これは、計画があり、前向きに進められているから記載がなくなったのでしょうか。	・第2回審議会に提示した案では、「長浜の水族館構想」の記載を削除した案を提示していた。 【最終案】 主要施策1 市街地及び集落の計画的な整備充実 ②臨港部の機能強化 また、長浜の水族館構想の検討を行うとともに、長浜港周辺の都市機能や交通施設を充実・強化します。
⑭	P3-63	■施策13 学校教育の充実”の中で、「郷土を愛する」や「子どもと向き合う」とあります。以前、お祭りを開催した時に、うるさいと警察に連絡され、取りやめになったことがあります。また、よさこいをして「うるさいのでボリュームを下げてください」といわれることがあります。大洲市の公共の行事に対しては、市民の協力する義務があることを示してほしいです。市民の人間性についての教育です。協力や義務に関して、上手に表現してください。	【最終案】 主要施策2 市民活動・地域活動の活性化 ②自主的な地域活動・共創による取組の推進 ・地域の自主的・自立的な活動の支援を図り、連帯感や郷土愛にあふれた地域コミュニティの育成に努めます。